Over the Rainbow

大阪教育大学　国際センター発行　『オーバー・ザ・レインボー』2015年8月発行

vol.17

TOPICS

■スタッフ紹介
■日本文化研修
日本文化体験研修（愛知）
冬季日本文化研修（相撲）
春季日本文化研修（京都）
■地域の国際交流団体による交流活動
教育支援金授与式
スポーツ&ゲーム交流、ホストファミリープログラム
七夕笹飾り体験
留学生講演「異文化の暮らしを学習しよう」
■平成27年度国際交流週間
■平成27年度前期修了留学生メッセージ
■国際センターの活動
UNCW研修団受入
語学研修体験談（オーストラリア・台湾）
留学生後援会入会のお知らせ

巻頭言

大阪教育大学　国際センター長　**高橋 登**

『異文化理解の先にあるもの』

写真：平成27年5月　春季日本文化研修（京都府・建仁寺）にて

巻頭言

異文化理解の先にあるもの

大阪教育大学　国際センター長　高橋 登

みなさんは子どもの頃、親からお小遣いをもらっていましたか?その場合、使い方について何か決まりはありましたか?

日本・韓国・中国・ベトナムの発達心理学者が共同で、私たちは、それぞれの文化における子どもとお金の関わりについて研究を進めてきました。親からもらったお小遣いは、もちろんすべて自由に使えるわけではありません。賭け事などは許されない使い方の代表です。ただし、どんな使い方は望ましいのか、望ましくないのかの基準は文化によってずいぶん異なります。その意味で、親から与えられるお小遣いには、それぞれの文化における親子関係や友だち関係などの、人間関係の有り様が色濃く反映されるものなのです。

友達と遊んだ帰りにお菓子を買い食いするようなことはよくありますが、一般に日本では、おごったりおごられたりするのは良くないと考えられています。上下関係ができてしまうからというのが理由です。一方、韓国などでは、おごり、おごられることは日本より頻繁に行われるだけでなく、肯定的に受けとめられます。そもそも友達と一緒にお菓子を食べるのは楽しいことだし、おごってもらっても次の機会におごればいいから、というわけです。個々人のレベルで見れば、個人差は色々ありますが、おごる韓国人と割り勘の日本人、というのが典型的な図式です。

さて、日本人の割り勘は、韓国人から見るとちょっと冷たいように感じられるようです。逆に、日本人から見ると韓国人のおごり文化はちょっと暑苦しい、いい加減な印象を受けます。異文化理解とは、相手の行動に対する、このような違和感から始まると私たちは考えています。自分たちの常識からすると、ちょっと逸脱しているような行動が、相手の文化の中ではむしろ望ましいものと思われ、しかも話を聞いて行くとそこにはちゃんと理由もある。感情的には違和感は残るけれども、そうした生き方をしている人たちが私たちの周りにいることを知る、そうした暮らし方もまた認めて行く、というのが異文化を理解するということだと思います。

ただし、私たちの異文化理解には、もう一歩先があると考えています。私たちは、自分とは異なる文化を知ることを通じて、今度はみずからを振り返り、自分たちの文化をより深く知ることにもなるのではないでしょうか。このように、相手の文化を知ることは、自文化をより深く知ることにもなるのです。留学生のみなさんの文化的背景は多様です。異なる文化に暮らす人々と知り合い、感情を揺さぶられる(驚かされ、ときにはいらいらさせられる)ことを通じて、自文化を客観的に見る、より深く理解するきっかけにもしていってもらいたいと願っています。

スタッフ紹介

国際係長 林祐美子

2015年4月より、5年ぶりに国際係の業務に就くこととなりました。ここ数年では、国際化という言葉よりグローバル化という言葉の方がより普通に使われるようになっています。本学がグローバル化に対応できる人材を育成することは使命ですが、私自身の役割は本学のグローバル化を加速させること、と思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2015年4月より1年半ぶりに学術連携課国際係に着任しました。本学のグローバル化をより一層推進すべく、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

国際係員 山内美里

日本文化体験研修・日本文化研修

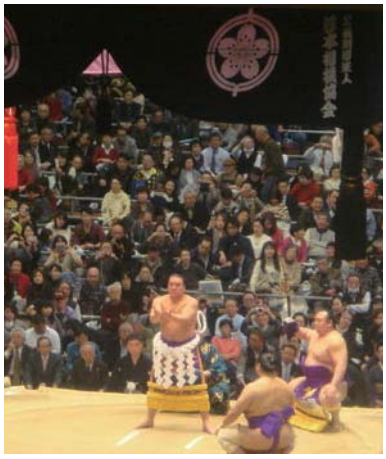
明治村・名古屋城・トヨタ産業技術記念館を巡る旅

明治村・名古屋城・トヨタ産業技術記念館・長良川温泉

平成27年2月12日、留学生49名と引率教員3名を乗せた2台のバスが、愛知県犬山市に向かいました。1泊2日の日本文化体験研修の初日は博物館明治村の見学でスタート。明治村は明治時代に西洋の影響を受けて建築された貴重な文化財が移築された広大な野外の博物館です。留学生たちは村内マップを片手に思い思いのルートで明治の日本を体験していました。そして、宿泊した長良川温泉では、和風の旅館と温泉を楽しみ、2日目は名古屋城とトヨタ産業技術記念館を訪れました。修復中の名古屋城では文化財の保護について学び、一方トヨタ記念館ではトヨタの社史を通じて近代日本の発展を知ることができました。名古屋城では雪に降られましたが、2日間で今日に至る日本の歴史について多くを学んだようです。

冬季日本文化研修

大相撲観戦



国際センターの春休みの恒例行事、大相撲春場所観戦。3月13日に26名の留学生が行ってきました。当日は出発前に国際センターの長谷川ユリ教授から相撲に関する事前講義を受け、大阪府立体育会館へ向かいました。

会場の外には色とりどりののぼりが飾られ、入り口付近では力士の到着を待つ相撲ファンが集まっていました。学生たちは本場所ならではの熱気を感じながら場内に入り、観戦しました。土俵からは離れた客席でしたが、力士たちがぶつかり合う音や行司のかけ声などがよく聞こえ、力士の迫力ある動きに驚いた様子でした。取組ごとに歓声を上げて声援を送り、支度部屋に出入りする力士を見に行くなど、皆思い思いに楽しんでいました。

春季日本文化研修

京都・伏見方面

2015年5月15日(金)、恒例の春季日本文化研修が実施されました。初夏を通り過ぎ、暑いくらいの陽気の中、留学生64名、日本人学生7名、引率教職員3名が京都方面に向けて出発しました。本研修は、留学生と日本人学生とが交流を深めながら、日本の歴史や伝統文化を直に体験する機会として毎年開催されています。

今回の研修では、午前中には日本伝統織物の西陣会館、午後は建仁寺で座禅の体験をし、伏見の街を散策した後、日本酒の大倉記念館を見学しました。

午前中は、西陣会館で煌びやかな西陣織の着物ショーを堪能しました。また、各種の織物の実演もあり、日本伝統文化の一端に触れることができました。この日は、葵祭りであったために、京都の町は混んでいましたが、時間通り、目的地に到着できました。

昼食をはさみ、午後からは臨済宗の総本山、建仁寺に向かいました。研修前に行われた事前講義で建仁寺と禅について学んだ学生たちは、体験座禅での僧侶との会話を通して「看話禅」に興味深く聞き入っていました。

伏見では、坂本龍馬縁の寺田屋旅館(現在も旅館として営業中)付近を散策しました。また、伏見は水が良く、江戸時代より日本酒で有名なところです。寺田屋の前にも繋がる運河は、いわゆる高瀬川として京都まで繋がっています。ここで、月桂冠大倉記念館を訪ね、江戸時代の製法などの説明を受けました。思い思いのお土産を手にした学生たちは一路大阪への帰路につきました。

日本文化への見聞を広めながら、友人たちとの交流を深めた学生たちはとても充実した1日を過ごした様子でした。

地域の国際交流団体による交流活動

大阪柏原ロータリークラブ

教育支援金授与式

平成27年4月7日、大阪柏原ロータリークラブ様より、本学私費外国人留学生3名に1人24万円（月額20,000×12ヶ月）の教育支援金（奨学金）が贈呈されました。

教育支援金を授与された学生
- ・CAMPANA JONATHAN ROBERT（カンパナ ジョナサン ロバート）
  学校教育教員養成課程英語教育専攻2回生 米国
- ・汪 暁冬（オウ ギョウトウ）
  教養学科健康生活科学専攻3回生 中国
- ・郝 爽（カク ソウ）
  大学院教育学研究科美術教育専攻2回生 中国

奨学金贈呈の場では、受給者の3名はそれぞれ将来の夢や目標を語るとともに、ロータリークラブ例会や家族会等の行事毎にお世話になり、色々なことを経験させていただいていることに感謝の意を表しました。

経済的に厳しい状況で大学生活を送る留学生が多い中、大阪柏原ロータリークラブ様のお志は、彼らが勉学を継続するうえで大きな支えとなっていることに感謝いたします。

グローバル香芝

ホストファミリープログラム

5月16日（土）、奈良県香芝市にある国際交流市民の会「グローバル香芝」主催で恒例の「春のホストファミリープログラム」が開催されました。これは留学生との交流を通して国際理解を深めようという趣旨のもと、香芝市在住の方々がボランティアで留学生を日帰りで家庭に受け入れてくださるものです。

今回は7名の留学生が参加し、まず「マッチング」の場で、留学生が出身国および都市、そして「日本の何が好きか」を語り、受け入れ家庭の方からは、家族構成やホストファミリーの経験について紹介していただきました。その後しばし歓談の後、一緒に各家庭へ向かいました。

留学生たちは午後のひととき、日本の生活様式に触れつつ、家族との会話を楽しんだようです。後日、留学生たちはそれぞれに素晴らしい「おもてなし」を受けたとたいへん感激しておりました。主催者である「グローバル香芝」の皆様、そして留学生を受け入れてくださった香芝市民ボランティアの方々には心より御礼申し上げます。

スポーツ・ゲーム大会　キム デフン（韓国出身・特別聴講学生）

5月9日（土）グローバル香芝の皆さんが留学生のためにスポーツ大会を開催してくれました。本学の留学生だけじゃなくて他の大学の留学生も参加してくれました。初めて会った他の大学の留学生・グローバル香芝の皆さんとはちょっと距離があったんですけど、チームを分けてドッジボールをやった後その距離はなくなりました。ドッジボールが終わってからボウリングをやりました。ボウリングのボールは本当のボウリングのボールじゃなかったから私が思った通りにできなかったです。でも、この二つのゲームを皆と一緒にやってとても楽しかったです。

ゲームが終わってグローバル香芝さんが準備してくれたご飯を皆と一緒に食べる時、色々な話をしたり、写真を撮ったりして、楽しくていい思い出ができました。ご飯を食べた後、またゲームをしました。このゲームは体育館ではなく教室でやったんですけど、私もやったことがないゲームで面白かったです。イベントの最後、皆と一緒に写真を撮ってさようならの時間になって、何か名残惜しかったんですけど、メッセンジャーを交換してまた一緒に遊びましょうと約束して帰りました。

今回、このイベントに参加してとても楽しくて良かったと思います。後、残りの留学期間に機会があったらまた参加したいし、日本にくる新しい留学生に参加したら楽しいと伝えたいです。

シニア自然大学校

七夕飾り体験

7月1日（水）、シニア自然大学校の皆さまの主催により、今年度も七夕の笹飾り体験を開催していただきました。

昨日、刈り取ったばかりという瑞々しい笹を用意していただき、緑の香りの中で、笹飾りを行いました。

色とりどりの笹飾りに加え、それぞれの想いをのせた短冊で笹を彩りながら、シニア自然大学校様と交流を深めました。願い事は「日本語能力検定合格」や七夕らしく恋人、あるいは、故国の家族の「家内安全」を短冊に記入していました。丁寧なご指導を受けながら、隣の友人達と賑やかに笹飾りを作り、日本の文化を満喫した一日でした。今回は、八尾市と姉妹都市のアメリカのベルビュー市からホームステイに来た学生も参加し、地域の国際交流にも貢献できました。

終了後は、恒例の記念撮影の後、栗林学長を表敬訪問し、出来上がったばかりの七夕飾りをお贈りしました。

柏原市人権推進課

「異文化の暮らしを学習しよう」

2015年7月1日（水）、柏原市フローラルセンターで毎年実施されている講座「異文化の暮らしを学習しよう」において、本学の留学生フィゼレ・キティさんが講師として招かれ、出身国のハンガリーについて紹介しました。キティさんは、ハンガリーのエトヴェシュ・ロラーンド大学（ブダペスト大学）で日本語学を4年間学び、日本語・日本文化研修留学生として本学で1年間、日本語や日本文化を学んでいます。

キティさんの話は、ハンガリーの名物である刺繍やパプリカ、温泉、自然、世界遺産、行事やお祭り、歴史など幅広く、時々聴衆にクイズを出すなど楽しい講演になりました。クイズに当たった人はハンガリーのチョコレートやバッジなどがもらえ、みな一生懸命に答えを考え、正解したときはとても嬉しそうでした。ハンガリーの紹介の中でも、コンタクトのソフトレンズやマッチ、ルービックキューブなど、日本人が日常的に使用し、慣れ親しんでいるものがハンガリーで発明されたという話が印象的で、遠いハンガリーが急に近く感じられるようでした。

講演の最後には、キティさんとキティさんの婚約者で、大阪大学で研究員をしているベネデク・ジョルトさんが、ハンガリーの民族舞踊を披露しました。ハンガリー刺繍がちりばめられた民族衣装が美しく、キティさんが回転する度にスカートの裾がきれいに広がる様子に、会場は魅了されました。

平成27年度国際交流週間

大阪教育大学の留学生と日本人学生、教職員、地域住民の方との交流を図り、異文化・国際理解に寄与することを目的として、国際センターと大阪教育大学生活協同組合との共催による「国際交流週間」を、6月1日（月）から5日（金）までの期間に実施しました。

6月1日（月）、2日（火）、4日（木）5日（金）には、第2食堂のバイキングメニューとして、留学生の出身地の料理をアレンジして販売しました。留学生はメニューやレシピ提案を行い、マカロニ&チーズ（アメリカ）、お茶卵（台湾）、パプリカーシュ・クルンプリ（ハンガリー）、チャー・クニャイ・サッチ・モワン（カンボジア）が日替わりで提供されました。レシピ提案を行った留学生たちは口々に「おいしい」「国の味と同じ」と笑顔を見せていました。

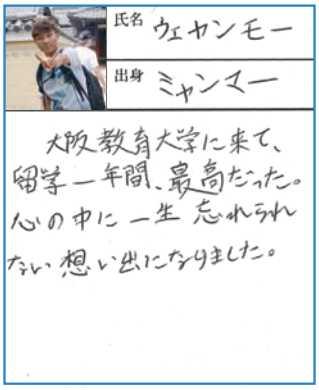
6月3日（水）には、サンクンガーデンを会場に、留学生によるパフォーマンスと留学生出身地メニューのテント販売を行いました。

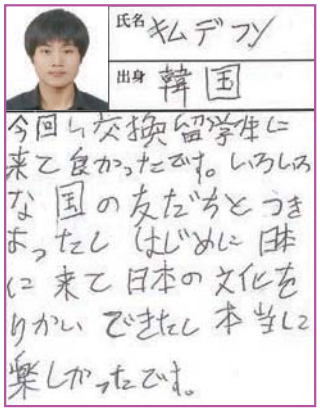
テントでは、トムカーガイ（タイ）、ルンダン（インドネシア）、ラミントン（オーストラリア）が販売されました。またテント販売の横では、中国とベトナムからの留学生が母国の伝統衣装を着て司会を務め、ハンガリーからの留学生が『ハンガリーの踊り』（キティ&ジョルト）を、チーム絆（カンボジア、スリランカ、ミャンマー、ブラジル、インドネシア、タイ、ハンガリーの7か国の留学生によるチーム）が各国の音楽にあわせて踊る、『多国籍踊り』をそれぞれ披露しました。会場にはたくさんの人が集い、時折クイズを交えながらのにぎやかな司会や鮮やかな民族衣装を着てのパフォーマンスに盛大な拍手が起こりました。

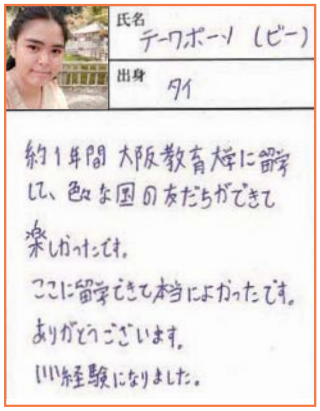
イベントの準備段階から会場運営、広報物作成など、生協学生委員会が精力的に活動し、留学生と力をあわせてイベントを盛り上げました。

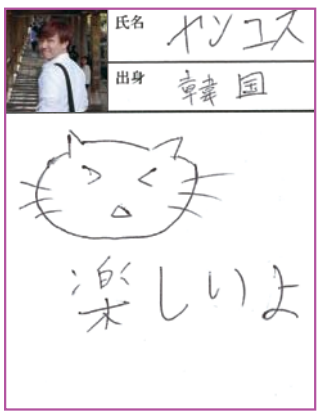
国際センターでは、今後も本学留学生と日本人学生、地域住民らとの交流を図り、国際理解を深める機会を設けていきたいと考えます。

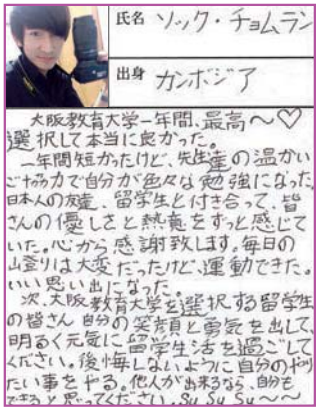
平成27年度
前期修了留学生
メッセージ

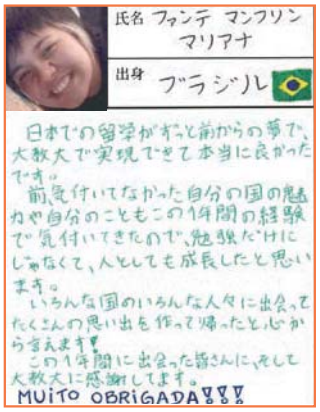


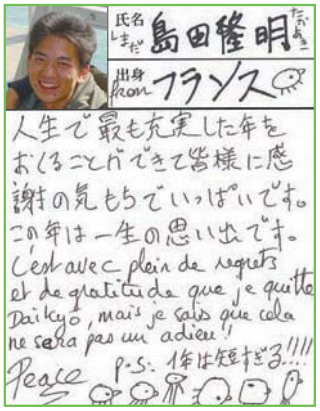


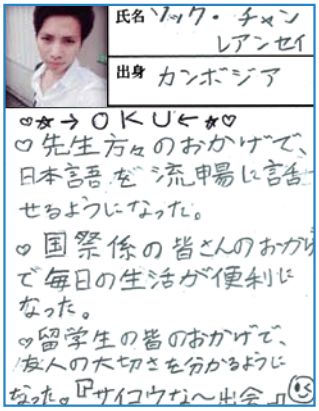


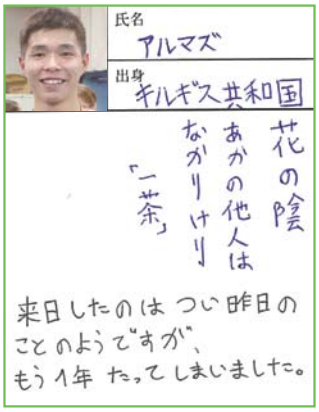


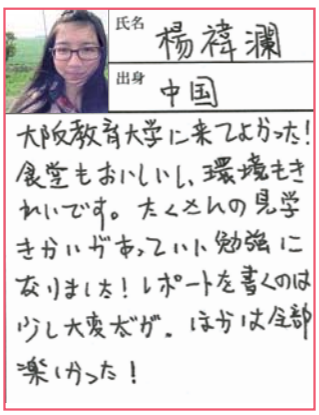




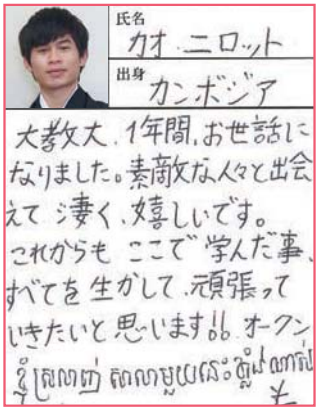








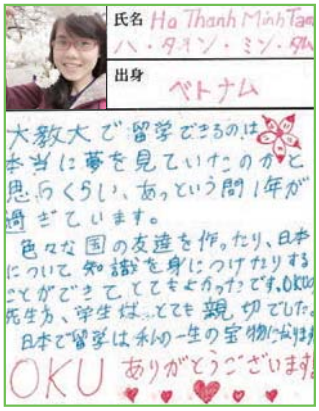
■日本語・日本文化研修留学生
MYRONENKO, OLEKSII(ウクライナ)
DIDYK, VADYM(ウクライナ)
■特別聴講学生(交換留学)
JORGE PACHECO, CYNTHIA CAROLINA(スペイン)
DAVIN, MARINA AURORE ANAIS(フランス)
BARTLETT, DEVIN MIKAEL(アメリカ)
SMITH JR, RICKY(アメリカ)
CHEN JUNG HSIEN(台湾)
■特別聴講学生(短期プログラム)
JEON ARAN(韓国)
RYU SEUNGHWAN(韓国)


氏名 カオ・ニロット
出身 カンボジア

大教大、1年間、お世話になりました。素敵な人々と出会えて凄く、嬉しいです。これからも ここで 学んだ事、すべてを生かして、頑張っていきたいと思います!! オークン

氏名 マリティー リャナブラッチ
出身 スリランカ

ゲーム大会 踊り 木自撞 チェーツップ
大教大...
優しい先達、笑顔の国際センターの皆さんのおかげで不安がない大学生活ができて
友達...
どんな 時でもそばにいてくれて
抱擁
書道
生け花 門松 盆道 三つ揃 着物


氏名 Ha Thanh Minh Tam ハ・タイン・ミン・タム
出身 ベトナム

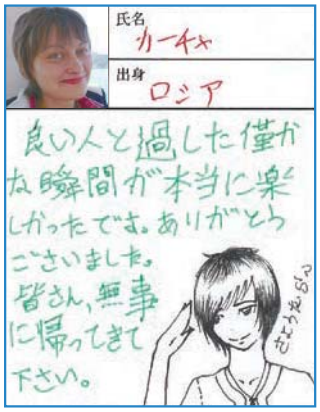
大教大で留学できるのは本当に夢を見ていたのかと思うくらい、あっという間1年が過ぎています。
色々な国の友達を作ったり、日本について知識を身につけたりすることができて、とてもよかったです。OKUの先生方、学生はとても親切でした。
日本で留学は私の一生の宝物になります。
OKU ありがとうございます!

氏名 スピョイ ソン
出身 ミャンマー

大学1年生からの夢だった日本の留学生活を楽しく過ごせて嬉しいです。
大教大の先生方、日本人の知り合いと留学生の友達、として皆様!
おおきに!

氏名 Ficcere Kitti キティ
出身 ハンガリー

大教大での一年間は本当に楽しい期間だった。
勉強、発表やレポートでの忙しい時もあったが、帰国してからなつかしく思う思い出もいっぱい!
おおきに!
世界のあっちこっちの友達ができて、よかった。とてもさびしくなるよ!
また いつか、どこかで会おうね。
ハンガリーちゃん


氏名 カーチャ
出身 ロシア

良い人と過した僅かな瞬間が本当に楽しかったです。ありがとうございました。
皆さん、無事に帰ってきて下さい。

氏名 カーリン シュイ
出身 ドイツ

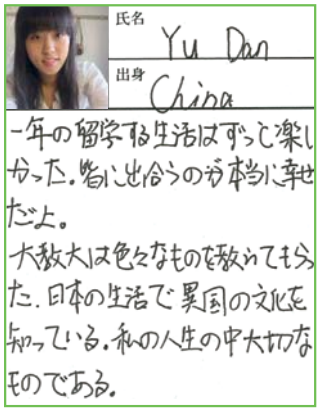
一年間どうもありがとうございます!
留学の生活はとても楽しかったです!
大教大に絶対戻りたいと思います。
猪

氏名 キム・ウンビ
出身 韓国

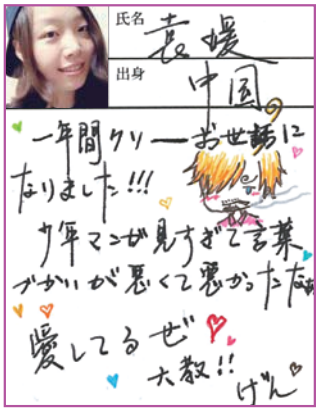
1年という時間は私にとって短い時間でした。もっと日本を楽しみたい気持ちが山山です。
そして、私のために努めてくれたチューターのひかりとみさきにありがとうと伝えたいです。担当先生も国際係の先生たちもありがとうございます!

氏名 TIAN TIAN
出身 中国

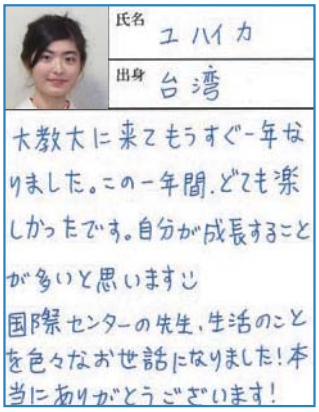
Thanks all of you for giving me those happy memories. With OKU a wonderful future.


氏名 Yu Dan
出身 China

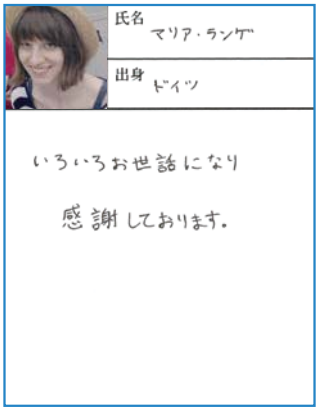
一年の留学する生活はずっと楽しかった。皆に出合うのが本当に幸せだよ。
大教大は色々なものを教えてもらった。日本の生活で異国の文化を知っている。私の人生の中大切なものである。


氏名 袁媛
出身 中国

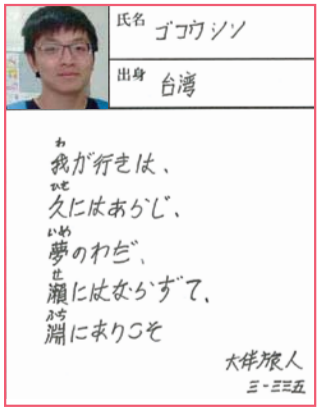
一年間クリーお世話になりました!!!
少年マンが見すぎて言葉づかいが悪くて悪かった友
愛してるぜ
大教!!
けん


氏名 ユ ハイカ
出身 台湾

大教大に来てもうすぐ一年なりました。この一年間、どても楽しかったです。自分が成長することが多いと思います。
国際センターの先生、生活のことを色々なお世話になりました!本当にありがとうございます!

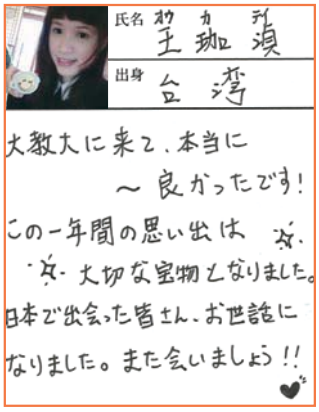

氏名 マリア・ランゲ
出身 ドイツ

いろいろお世話になり
感謝しております。

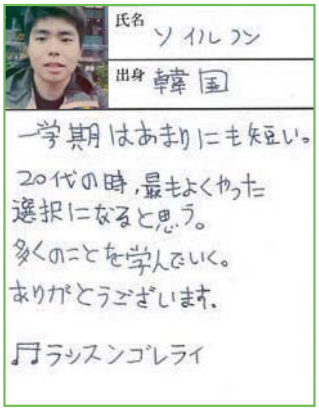

氏名 ゴコウシソ
出身 台湾

我が行きは、
久には あらじ、
夢の わだ、
瀬に 成らずて、
淵に ありこそ

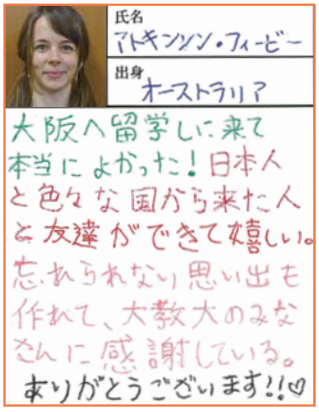
大伴旅人
三-三五


氏名 王珈瀅
出身 台湾

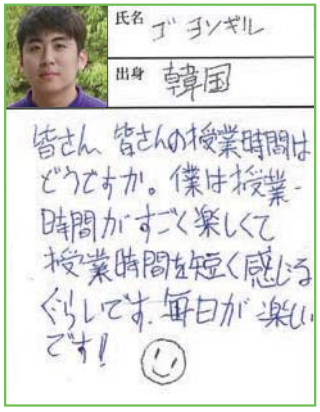
大教大に来て、本当に
～良かったです!
この一年間の思い出は、大切な宝物となりました。
日本で出会った皆さん、お世話になりました。また会いましょう!!


氏名 ソイレ ソン
出身 韓国

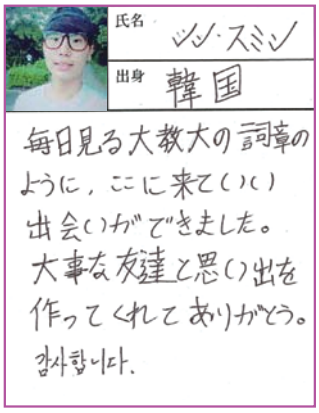
一学期はあまりにも短い。
20代の時、最もよくやった選択になると思う。
多くのことを学んでいく。
ありがとうございます。
ラッスンゴレライ


氏名 アトキンソン・フィービー
出身 オーストラリア

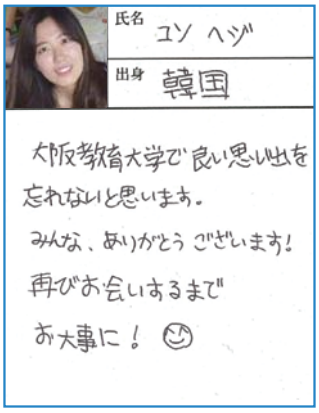
大阪へ留学しに来て本当によかった!日本人と色々な国から来た人と友達ができて嬉しい。忘れられない思い出も作れて、大教大のみなさんに感謝している。
ありがとうございます!!


氏名 ゴ ヨンギル
出身 韓国

皆さん、皆さんの授業時間はどうですか。僕は授業時間がすごく楽しくて授業時間を短く感じるくらいです。毎日が楽しいです!


氏名 ソン・スミン
出身 韓国

毎日見る大教大の詞章のように、ここに来て()()出会いができました。
大事な友達と思()出を作ってくれてありがとう。
감사합니다.


氏名 ユソ ヘジ
出身 韓国

大阪教育大学で良い思い出を忘れないと思います。
みんな、ありがとうございます!
再びお会いするまで
お大事に!

国際センターの活動

国際センターでは、年間を通して海外の協定校との交流プログラムや研修を実施しています。ここではその一部をご紹介します。

米国ノースカロライナ大学ウィルミントン校（UNCW）の海外研修を受入

本学と協定を結ぶアメリカ合衆国ノースカロライナ大学ウィルミントン校（UNCW）の学生11名及び引率教員2名が、6月22日（月）から6月25日（木）の4日間にわたり本学附属学校園をはじめ、大阪および奈良の公立小学校・中学校、高校で学校観察研修を行いました。

これは同大学教育学部の海外教育研修プログラムの一環で、本学はその実施に際して全面的に支援しています。本学のアメリカ語学研修・学校観察プログラムもUNCWの協力のもとで実施されており、双方向の交流が10年以上にわたり続けられています。

今回は小学校グループと中学校・高校グループに分かれ、様々な授業を観察したほか、習字や琴・尺八なども体験しました。参加者の中には現職教員の大学院生も多く含まれ、日米間の教育現場の違いについて研修先の教員と話し合う機会もありました。さらに、奈良の公立小学校では、すぐ近くに建設されたオープン間近の給食センターの施設見学にも参加しました。アメリカには給食という概念がなく、システム化された最新の施設を前に参加者は日米の制度の違いに

驚いていました。

6月26日（金）には、国際センター長である高橋登教授（学校教育講座）の授業に参加し、本学の大学院生や研究生などと日米の教育制度について活発に意見交換しました。

研修を終えた参加者からは「日本の学校の『掃除の時間』は素晴らしい」「子どもたちにのびのびと学ばせている」「日本で学んだことを是非アメリカで応用したい」などの感想が寄せられました。

オーストラリア語学研修

三上 智絵（ミカミ トモエ）
学部4回生
特別支援教育教員養成課程
発達・言語障害教育コース

初めての海外で不安もあったのですが、英語を学びたい、自分の価値観を変えたいという思いで語学研修に参加しました。行ってみると毎日が目新しいことの連続で、5週間半オーストラリアで過ごした時間は忘れられない大切な思い出になりました。

まず、オーストラリアの自然、文化、芸術にたくさんふれました。とても自然豊かなところで、珍しい動物もいました。ブリスベンの街は川の流れとともにゆっくりと時が流れるようで、橋のある景色がきれいでした。私が特に気に入った場所は、ブリスベンにある博物館と美術館です。そこは驚くことに入場料が無料でした。アボリジニのアートなど、様々な作品が展示されていて感動しました。

次に、英語でのコミュニケーションを通して価値観が大きく変わりました。自分の考えを率直に言うことが苦手で、英語力が不十分なので、最初はホームステイをする自信がありませんでした。そんな私をホストファミリーは優しく迎えてくれて、おいしい料理を作ってくれたり、オーストラリアのことを教えてくれたりしました。少しずつ日常会話が上達し、私も折り紙を折るほか、お好み焼きを作るなどして日本の文化を紹介しました。毎日ホストファミリーと会話するひとときは楽しく、積極的に自分の考えを伝えてみようという前向きな気持ちになりました。グリフィス大学でも様々な国の人と友達になりました。

これからますます社会はグローバル化が進み、教育現場でも英語や国際交流が重要になってきています。オーストラリアでの経験は、私に世界と繋がるきっかけを与えてくれました。もっと世界に目を向けて、広い視野で物事を考えることの大切さに気付きました。自分の英語力はまだまだですが、これからも様々な学習の機会を大切にして語学勉強を続けたいと思います。

最後に、語学研修でお世話になった先生、ホストファミリー、友人、すべての方々に心より感謝いたします。ありがとうございました。

台湾文化研修

松下 咲貴（マツシタ サキ）
学部3回生
教員養成課程書道専攻
中学校コース

3月中旬日本ではまだまだ肌寒い日が続く中、半袖でも過ごせる台湾を訪れました。2日間公立の崇徳小学校で観察実習をさせていただきました。しかし、準備して臨んだ授業（書写・ぶんぶんごま）では言葉の壁を感じました。日本語講師のPTAさんや楊先生の補助の甲斐あり、やれることを全て出し切れた授業となりました。10日間台北教育大学にて研修を受け、すぐに使える中国語や台湾の文化を学び、日本の他の大学の学生やチューターさんと日々切磋琢磨していました。観光もさまざまな場所をめぐることができ、プログラムはとても充実していました。雨の日が続いてもプログラムはそのまま決行でき、楽しむことができました。

本校の留学生でもあった林維信さんには大変お世話になりました。達者とは言えない中国語で現地の方々と交流する私たちのサポートを毎日していただきました。初めは学生のみで過ごす夜は不安だったけれど、夜市や美しい夜景に心を奪われ日に日に行動範囲を広げられました。

台湾で過ごした日々のおかげで、日本を客観的に見ることができるようになりました。異国の地で日本語で話しかけられると嬉しくてつい長話してしまったため、日本にいる外国の方にも母語で話しかけられるくらい外国語が話せるようになりたいと思いました。

2週間の語学研修でも大きな収穫のあるものとなりました。

会員募集中 留学生後援会入会のご案内

留学生後援会では奨学金支給、国際交流行事支援などを行っております。ご関心をお持ちの皆様は、ぜひご加入下さい。

会費・納入方法

一般会員 学内職員
・一口1,000円/月、または一括・給与から天引き

特別会員 学外支援者
・振込　任意の金額を下記いずれか宛てにお振込下さい

ゆうちょ銀行ぱるる
記号：14120　番号：96618321
名義：大阪教育大学留学生後援会
（オオサカキョウイクダイガクリュウガクセイコウエンカイ）

三菱東京UFJ銀行　藤井寺支店
普通預金　口座番号：5210211
名義：大阪教育大学留学生後援会
（オオサカキョウイクダイガクリュウガクセイコウエンカイ）

・現金納入

連絡先　大阪教育大学留学生後援会　森下・林　電話：072-978-3351,3300　E-mail：ryugaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

Over the Rainbow vol.17
年2回発行　第17号　平成27年8月6日（木）発行
編集・発行／大阪教育大学国際センター
〒582-8582 大阪府柏原市旭ケ丘4丁目698番1 http://osaka-kyoiku.ac.jp/c/index.html
連絡先／電話：072-978-3300 FAX：072-978-3348
E-mail：isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp